

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	ロケーション関連事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	森田	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	ロケーション施設管理費(01-01-01)				
事務事業の種類	新規事業（22年度 21年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 15 年度	根拠			
終期設定	有 無 24 年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	映画、ドラマ、CMなどの撮影を区内に誘致し、映像を通して区のイメージアップを図る。				
対象者等	映画、ドラマ、CMなどの制作会社				
内容	<p>区内公共施設や区内での撮影を誘致するために、施設の提供、手続きの利便性向上等支援を行う。</p> <p>1 旧道灌山中学校校舎3階の一部を映像制作コーディネータに貸付け、ロケ場所として提供 貸付場所 荒川区西日暮里5-37-5 旧道灌山中学校 3階一部346.64㎡(トイレ等教養部分は除く) 貸付料 月額 223,000円 共益費 月額 50,000円 使用時間 午前9時～午後9時</p> <p>2 ロケに関する相談受付、情報提供、区施設使用に係る連絡調整</p>				
経過	<p>平成13年 3月 道灌山中学校校舎 9月 校舎をACCに無償貸与</p> <p>平成15年 2月 ACCがロケ場所として提供(映像制作コーディネータに貸付け) 10月 ACCへの無償貸与中止、区が映像制作コーディネータに貸付け</p> <p>平成17年 4月 公募により、コーディネータの選定</p> <p>平成18年 6月 貸付け方法の見直し</p> <p>平成19年 3月 公有財産管理運用委員会において、平成22年度まで延長決定</p> <p>平成20年 6月 25年3月までの暫定利用期間の延長の方向(3ヵ年)</p>				
必要性	映像を通じた区のイメージアップ及び施設の有効活用を図ることができる。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算額	16,166	6,185	1,409	1,382	1,396	1,352	1,597	
決算額(22年度は見込み)	535	570	629	627	647	666	1,597	
人件費		3,062	904	1,342	424	1,018		
【事務分担量】(%)		50	25	30	25	30		
合計(+)	535	3,632	1,533	1,969	1,071	1,684		
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)	7,958	4,202	6,585	3,276	3,276	3,276	3,277	
一般財源	-7,423	-570	-5,052	-1,307	-2,205	-1,592	-3,277	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	旧道灌山中学校利用件数	85	145	80	73	58	72	70
	その他区施設でのロケ件数	40	34	23	27	36	33	35
	ロケに関する相談等受付件数			73	51	90	59	80

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		光熱水費	電気料	63	電気料	78	電気料
需用費	建物修繕ほか	18	建物修繕ほか	8	建物修繕ほか	586	
役務費	受水槽清掃	12	受水槽清掃	12	受水槽清掃	12	
委託料	清掃、管理、警備	554	清掃、管理、警備	568	清掃、管理、警備	495	
					ロケ実施調査	409	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
標	旧道灌山中学校利用件数	73	58	72	70	80	暫定利用（平成25年3月まで）
	その他の区施設でのロケ件数	27	36	33	35	40	公園、体育館等の利用状況

（問題点・課題）	<p>撮影の誘致を拡大するためにPRの充実、支援機能の充実が必要である。 区のイメージアップに結びつけるための方策について検討する必要がある。</p>
他区の実況	<p>（実施 2 区 未実施 区）</p> <p>台東区フィルムコミッション（平成17年度～） 学校施設の提供は、台東区、豊島区が実施</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
区施設の使用に関して、関係部課との連携し、ロケの利用条件等の手続き一覧を作成し、HP等で公表するなど、適切な情報の提供を行う。	ロケに関する手続き等を明確にするとともに、利便性を充実することにより、ロケの誘致件数を拡大できる。
ロケに関する区内外へのPR等イメージアップ及びロケ弁当販売などの商業振興について検討する。	映像を通じた区のイメージアップと地域商業の振興が図られる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	荒川区におけるロケ誘致件数を増加させるため、旧道灌山中学校のロケ施設を含め効率的かつ効果的な運営方法を検討する。

議会質問状況（要）	<p>H14二定 FCの検討について</p> <p>H14三定 「ロケの街」として売り込むための取り組みについて</p> <p>H21一定 「フィルムコミッション」への取り組みについて</p>
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	観光情報提供事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	日下、野沢、内田	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	観光情報提供事業(01-02-01)				
事務事業の種類	新規事業（22年度 21年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	14 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	荒川区の観光情報を区内外に広く提供することによって、区のイメージアップを図るとともに区への来訪者を増やし、地域経済の活性化を図る。				
対象者等	区外の人々及び区への来訪者				
内容	観光ガイド（イベントカレンダー）の作成（平成14年度～）*平成22年度版から英語版作成 HPに区内行事のインターネット動画配信（平成14年度～） 平成18年度から9件（都電荒川線沿線のバラ、素盞雄神社天王祭、諏方神社御神幸祭、胡録神社例大祭、尾久八幡神社例大祭、仲町通り阿波踊り大会、元三島神社大祭、石浜神社神幸祭、熊野前サンバカーニバル）を常時配信 平成21年度、 で制作した動画のダイジェスト版を作成（5イベント） HPに都電荒川線花見どころサイトの開設（平成14年度～） まちあるきマップの作成（平成17年度日暮里・南千住、18年度都電荒川線沿線、19年度日暮里・南千住改訂、20年度都電荒川線沿線に舎人ライナーを含め改訂、21年度日暮里・南千住改訂、日暮里・谷中マップ作成、22年度都電舎人ライナー沿線） 観光PR協力所の設置64カ所（H22.3末） 都電荒川線散策マップ（平成19年度） 行政観光パンフレットの作成（平成20年度） 観光スポット特集冊子の作成（平成20年度） 区HPのトップページに観光情報バナーを開設（平成21年度）				
経過	平成22年度から観光ボランティアガイドを受入体制整備事業へ移管した。				
必要性	多様な情報発信により区のイメージアップ、来訪者の増加を図ることができる。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算額	14,727	2,775	2,816	5,933	10,000	5,681	6,885	
決算額（22年度は見込み）	1,276	3,155	2,391	4,776	6,411	4,738	6,885	
人件費		6,033	9,394	11,102	11,255	9,895		
【事務分担量】（%）		70	110	130	140	125		
合計（+）	1,276	9,188	11,785	15,878	17,666	14,633	6,885	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	1,276	9,188	11,785	15,878	17,666	14,633	6,885	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	観光ガイド(イベントカレンダー)	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部	32,000部	32,000部
	まちあるきマップ		116,000部	56,000部	116,000部	68,000部	116,000部	92,000部
	観光PR協力所設置件数(延べ)				38カ所	51カ所	64カ所	70カ所

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		報償費	観光ガイド養成講座謝礼	23	観光ガイド養成講座謝礼	43	-
一般需用費	観光ガイド、観光案内冊子ほか	2,586	パンフレットスタンド購入等	523	パッチ作成消耗品	302	
旅費			観光PR用旅費	305	-		
役務費	郵送料	289	ボランティア保険	7	-		
委託料	まちあるきマップほか	3,240	まちあるきマップほか	3,800	まちあるきマップほか	6,583	
備品購入	カメラほか	273	テレビ	60	-		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
	観光PR協力所の設置件数 (延べ件数)	38	51	64	66	70	区外宿泊施設等も含む

(問題点・課題 指標分析)	区の多様な魅力と最新の情報を適切に提供していく必要がある。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	ホームページやパンフ等の充実を始め、多様な手法によりニーズに応じた荒川区の観光情報を提供する。	適時適切な情報発信を行い、区の魅力を多くの人々に伝えることにより、来訪者を増やすことができる。
	他区との連携を通じて、来訪者に広域的な情報を提供する。	観光客の視点に立った情報を提供することにより、来訪者の拡大を図る。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	観光振興を図るための基本的な事業であるため、さらにPRに努める必要がある。

議会質問状況(要旨)	H16一定 観光振興に学芸員を活用して。 H16三定 観光組織づくり。観光スポットを売り込む。 H16三定 コリアンタウンの情報発信をすべきである。 H16四定 観光ガイド養成講座を開設。菓子問屋ミュージアムの開設。 H18三定 観光マップの活用を図るため、協力店を募集し、配布拡大を図るべきである。 H18四定 日暮里、三河島の再開発ビルに「観光案内ステーション」を設置し、観光スポットを発信する。 H20三定 東京観光情報センターの日暮里駅への誘致について。
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	荒川区観光大使PR事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	内田	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	荒川区観光大使PR事業(01-02-02)				
事務事業の種類	新規事業（22年度 21年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	18 年度	根拠	荒川区観光大使設置要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	区の魅力を積極的に紹介していただける著名人を「荒川区観光大使」として任命し、幅広い人脈やネットワークを活かして、荒川区のPRとイメージアップを図る。 また、小中学生には、「あらかわ魅力伝え隊」として区のPR活動を通じた、郷土意識の醸成を図る。				
対象者等	・荒川区在住又は出身者で、区に愛着を持ち、区の魅力を積極的に紹介していただける著名人 ・区内小中学生				
内容	<p>実施内容（観光大使）</p> <ol style="list-style-type: none"> それぞれの立場において機会あるごとに荒川区のPRをしてもらう。 荒川区観光大使の名刺を作成。 区長と観光大使との対談を実施し、対談内容をケーブルテレビやホームページ等で情報発信する。 PR物品として、都電荒川線のポストカード、産業振興シンボルキャラクター「わざ丸」の携帯ストラップを作成。 <p>（あらかわの魅力伝え隊）</p> <ol style="list-style-type: none"> 観光大使の補助的役割を担う 区内小中学生が、区外の児童と交流する場において、名刺や観光パンフレットを配布する。 				
経過	平成20年度「あらかわの魅力伝え隊」を試行実施（平成21年度～本格実施）				
必要性	著名人を活用した効果的な区のイメージアップ				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
予算額			1,379	759	686	318	309	
決算額（22年度は見込み）			380	331	343	225	309	
人件費			7,686	2,562	1,694	1,221		
【事務分担量】（%）			90	30	20	15		
合計（+）	0	0	8,066	2,893	2,037	1,446	309	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	8,066	2,893	2,037	1,446	309	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	観光大使任命(人)			4	0	0	0	0
	区長との対談(回)			1	0	0	1	1
	PR活動			名刺作成	冊子作成	名刺・ポストカード	ストラップ	-
	あらかわの魅力伝え隊					2回	1回	1回

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需用費	観光PR名刺印刷	57	大使PR物品	176	大使・魅力伝えたいPR物品	200
使用料	ポストカード作成	286	昼食会	38	昼食会等	103	
			会場使用料	10	会場使用料	5	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
標	魅力伝え隊活動実績（回）	-	2	1	1	4	学校による他自治体との交流の場の回数

（問題点・課題分析）	観光大使や魅力伝え隊による、荒川区のPR活動の充実
他区の実況	（実施 6 区 未実施 16 区） 中央区（ミス中央）3人、台東区（たいとう観光大使）18人、豊島区（ソメイヨシノ桜の観光大使）3人、北区（北区アンバサダー）6人、品川区（観光大使）5人、墨田区（すみだ親善大使）3人

問題点・課題の改善策検討	
平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
魅力伝え隊向けの荒川区PRパンフレットの作成	小中学生向けのPRパンフレットを作成することにより、PR効果が期待できる。
生徒・児童が様々な機会を通じて、区のPRが行えるよう、実施方法について検討する。	魅力伝え隊の活動が拡大することで、PR効果が高まるとともに、郷土の文化・歴史を知るなど、教育的な効果も期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	魅力伝え隊の拡大を図っていく。

議会議決要旨（要旨）	
------------	--

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	産業観光推進事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	日下、野沢	内線	460
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	産業観光推進事業（01-03-01）				
事務事業の種類	新規事業（22年度 21年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 14 年度	根拠			
終期設定	有 無 年度	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	荒川区の産業技術や伝統工芸技術、区内で製造・販売されている優れた商品の紹介とPR、そしてモノづくり見学・体験スポットを通じて、モノづくりの街荒川のイメージアップと産業観光を推進する。				
対象者等	商品の製造、販売事業者 区民、区外の人々及び来訪者				
内容	<p>観光PRコーナーの設置（おすすめ品の販売等）・（平成21年度実績） あらかわの伝統技術展、荒川区産業展、TCK大井競馬場、つくば市産業展、鉄道フェスティバル（尾久駅構内）、路面電車の日、都電荒川線の日、バラの市、まるごとパズールin大垣、大田観光商い展、都庁観光情報センターPRコーナー（伝統工芸、マイスターの実演）、交流都市フェア はブランドの物販あり</p> <p>「荒川ブランド」商品を紹介する冊子の作成・配布 平成17年度 荒川のおすすめ品 区民が選んだおみやげ編Part1（33商品） 平成18年度 伝統工芸品、荒川マイスター製品編（伝統工芸品47商品、荒川マイスター製品17商品）（計64商品） 平成20年度 伝統工芸品、荒川マイスター製品編改訂（伝統工芸品44商品、荒川マイスター製品18商品）（計62商品）</p> <p>モノづくり見学・体験スポット整備支援事業 「モノづくり」工房や、ギャラリー等を一般公開する者に対し、スポットとして認定する。なお、必要に応じて改修等の費用を補助する。2/3補助（100万円上限）うち1/2は都補助あり 平成19年度 2件 平成20年度 6件 平成21年度 4件（計12件）</p> <p>駅からハイキングにおける商店街PRなど 多数の外客が見込めるイベント等において、下町商店街の魅力を伝え、再訪を促す取り組みを実施した。 平成20年度（芭蕉旅立ちの日(碑)と下町商店街散策）平成21年度（下町商店街とバラの街「あらかわ」めぐり）</p>				
経過	平成20年度 都電ウォークラリーは分離し、単独事業へ。荒川ブランドセールスプロモーション事業を統合した。 伝統技術展は経営支援課へ移行した。				
必要性	区内観光情報を区外に発信し、区のイメージアップを図る。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
予算額	900	3,900	30,814	11,713	9,552	8,179	8,321	
決算額（22年度は見込み）	467	3,366	4,708	4,814	7,521	3,475	8,321	
人件費		7,996	11,956	11,346	5,929	5,700		
【事務分担量】（%）		100	140	140	70	70		
合計（+）	467	11,362	16,664	16,160	13,450	9,175	8,321	
国（特定財源）								
都（特定財源）				698	2,516	888	1,875	
その他（特定財源）								
一般財源	467	11,362	16,664	15,462	10,934	8,287	6,446	
実績の推移	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
PR事業(回)	2	4	5	9	11	11	11	
内、ブランドPRイベント(回)		1	2	7	8	8	8	
商品紹介冊子作成(部)		10,000	20,000		20,000		20,000	
モノづくり見学体験スポット				2	5	4	5	

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	審査委員謝礼	7	7	審査委員謝礼	7	審査委員謝礼等
一般需用費	パンフレット作成	318	318	奥の細道・PR他	532	ブランドPR消耗品	100
旅費				大垣	142	大垣	72
委託料	会場設営委託	1,330	1,330	イベントPR設営等	865	イベントPR設営等	2,430
	荒川ブランド冊子	788	788			荒川ブランド冊子	1,750
使用料	会場使用料	361	361	荒川ブランドPR	137	荒川ブランドPR	600
負担金	スポット補助金	4,716	4,716	スポット補助金	1,446	スポット補助金	3,000
				奥の細道補助等	346	駅からハイキング補助	300

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
イ	イベント会場での実演・展示実施件数	9件	11件	12件	12件	12件	
モ	モノづくり見学・体験スポットの件数	2件	8件	12件	15件	20件	数値は累計

（問題点・課題分析）	<p>観光振興、産業振興に結びつく効果的なPR方法を検討、実施する必要がある。 モノづくり見学・体験スポットが広がりつつあるため、将来的には、地域ごとや伝統工芸、マイスター等に区分した観光ルートの設定などを、検討する必要がある。 駅からハイキングの商店街PR事業の実施内容が、観光イベント助成事業に近いことから、今後、組み替えを行う。</p>
他区の実況	<p style="text-align: center;">（実施 5 区 未実施 17 区）</p> 東京都産業を活かした観光ルート整備支援事業活用区 台東区（中小製造業アトリ工化支援事業）、豊島区（伝統工芸を巡る小路案内事業）、墨田区（3M運動ガイドマップ）、板橋区（産業観光ガイドブック）、江東区（ものづくりマップ作成）

問題点・課題の改善策検討		
	平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	区内外のイベント会場、来客施設等での展示、販売を拡大する。	より多くの人に荒川区の優れた商品を知ってもらうことにより、区のイメージアップと観光振興、産業振興を図ることができる。
	モノづくり見学・体験スポットをさらに拡大していく。	新たな区の観光資源に加えていくとともに、さらに産業観光の推進が期待される。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	モノづくり見学・体験スポットの拡大を目指し、産業観光を推進する。

議（要旨）	<p>H17二定 産業観光の視点で、姉妹友好都市交流をするべき。 H17二定 日暮里・舎人線の開通に合わせて、イベントを開催してはどうか。 H18一定 観光産業振興を図るため、花電車を走らせたらかどうか。 H18四定 都電を活用し、荒川区の観光振興を図るべきである。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	観光イベント助成	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	日下、内田、降矢、森田	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	その他観光イベント助成(01-04-02) 川の手荒川まつり助成(01-04-01)				
事務事業の種類	新規事業（22年度 21年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	62 年度	根拠	荒川区観光振興事業補助金交付要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等	川の手荒川まつり実行委員会実施事業補助金交付要綱	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	区民の開催する観光事業を支援し、区民とともに観光資源を育成する。				
対象者等	区民主体の民間団体				
内容	1 川の手荒川まつり実行委員会補助 ・平成18年度 南千住野球場 20,004千円(20回記念シンポジウムや郷土芸能の祭典) ・平成19年度 東尾久運動場 7,465千円 平成20年度 荒川遊園運動場 7,832千円 ・平成21年度 汐入公園 7,875千円 2 シダレザクラ祭り実行委員会補助 ・平成18年度 2,175千円 平成19年度 2,192千円 ・平成20年度 2,194千円 平成21年度 2,165千円 3 観光振興事業補助 ・平成17年度 1件 50千円 ・平成18年度 2件 100千円 ホタル鑑賞の夕べ(50千円)矢立初めの俳句大会(50千円) ・平成19年度 4件 180千円 ダイヤモンド富士(50千円)鈴虫の音色を聞く会(30千円)矢立初めの俳句大会(50千円)隅田川お花見クルーズ(50千円) ・平成20年度 5件 1,182千円(日暮里舎人開業イベント1000千円、鈴虫の音色を聞く会(32千円)矢立初めの俳句大会(50千円)隅田川お花見クルーズ(50千円)、日暮里繊維街マップ作成(50千円)) ・平成21年度 5件 1,149千円(日暮里さくら祭り973千円、鈴虫の音色を聞く会(26千円)矢立初めの俳句大会(50千円)隅田川お花見クルーズ(50千円)、左内まつり(50千円))				
経過	川の手荒川まつり 昭和62年以来、（計5回を除き）毎年4月29日（祝）に実施。17年の実行委員会において開催場所を南千住野球場、東尾久運動場、荒川遊園運動場、汐入公園で毎年開催するとことをルール化した。				
必要性	地域が主体となって、実施している事業を支援し、定着させる。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
予算額	11,387	10,075	28,920	10,074	12,688	12,340	12,310	
決算額（22年度は見込み）	9,004	9,221	22,316	9,927	11,490	11,845	12,310	
人件費		12,158	6,694	9,271	10,049	9,798		
【事務分担量】（%）		170	100	130	140	145		
合計（+）	9,004	21,379	29,010	19,198	21,539	21,643	12,310	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	9,004	21,379	29,010	19,198	21,539	21,643	12,310	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	シダレザクラ祭り参加者	500人	3000人	5000人	7000人	7000人	8,500	10,000
	事業補助金（日暮里イベント含む）		1件	2件	4件	5件	5件	6件
	川の手荒川まつり来場者	100千人	40千人	60千人	60千人	60千人	60千人	60千人
	川の手荒川まつり参加団体		121	136	134	139	147	147

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
補助金	シダレザクラ祭り補助金	2,194	シダレザクラ祭り補助金	2,165	シダレザクラ祭り補助金	2,200	
	事業補助金	182	事業補助金	176	事業補助金	250	
	川の手荒川まつり補助金	7,833	川の手荒川まつり補助金	7,875	川の手荒川まつり補助金	8,200	
	日暮里イベント	1,000	日暮里イベント	973	日暮里イベント	1,000	
	一般賃金	195	臨時職員	817	臨時職員	538	
	時間外手	86	時間外勤務手当	138	時間外勤務手当	121	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
標	観光事業補助金申請件数	4件	5件	5件	6件	6件	
	川の手荒川まつり来場者数 (人)	60千人	60千人	60千人	60千人	60千人	

（問題点・課題）	（指標の数値は、天候等外的な要因で左右されるため、達成困難な場合が想定されるものである。）
他区の実況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成23年度以降に取り組み具体的な改善内容	改善により期待する効果
各種団体のイベント等について、様々なツールを活用して情報発信の支援を行う。	広く周知することで、より多くの来訪者を獲得する。
潜在する観光資源を有効活用した新たな集客イベントを支援する。	名物となるようなイベントが創設されることで、来訪者を増やし、その取り組みを通じて、地域の活性化を図ることができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	観光振興を図る上で、区民・事業者の自主的活動の支援を進める必要がある。

議会（要質問状況）	H16一定 沿線商店街と連携した都電乗客サービスの提供と路面電車サミットの開催について H14三定 都電沿線の文化祭における区及び地元商店街の関わり方について
-----------	------------------------------------------------------------------------------------

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		報償費	委員報酬	297	委員報酬	79	委員報酬
旅費	視察旅費等	8	旅費等	2	視察旅費等	27	
食糧費	賄い	27	賄い	8	賄い	43	
一般需用	消耗品	41	消耗品	0	消耗品	50	
役務費	テープ反訳	35	テープ反訳	20	テープ反訳	105	
委託料							
使用料	バス借上他	66	会場使用料	0	会場使用料	14	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（実施 7 区 未実施 15 区）

問題点・課題の改善策検討	
	平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容
	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区における観光振興の具体的施策を検討するものである。

議会議決要旨（要旨）	
------------	--

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	都電荒川線活用事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	日下	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	都電荒川線活用事業（01-03-02）				
事務事業の種類	新規事業	（ 22年度 21年度 ）	建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	19 年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	区の観光資源である都電荒川線を活用し、区外からの観光客を呼び込む。				
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者				
内容	<p>【平成20年度】</p> <p>実施日 10月12日（日）</p> <p>主催 荒川区、北区 共催 東京商工会議所荒川支部（東京商工会議所創立130周年記念事業）</p> <p>協力 荒川区商店街連合会、北区商店街 後援 東京都交通局</p> <p>コース 南千住コース、町屋コース、尾久・梶原コース、王子コース</p> <p>参加商店街 ジョイフル三ノ輪、コツ通り商店街、南千住仲通り商店会、町屋駅前銀座商店街、町屋アベニュー、尾竹橋通り三栄会、尾久本町通り商店会、ふれあいCITYおぐぎんざ、はっぴーもーる熊野前</p> <p>【平成21年度】</p> <p>実施日 10月17日（土）</p> <p>主催 荒川区、北区 共催 東京商工会議所荒川支部 後援 東京都交通局</p> <p>協力 荒川区商店街連合会 北区商店街 東京都水道局</p> <p>コース 南千住コース、町屋コース、尾久コース、王子コース、滝野川コース</p> <p>参加商店街 ジョイフル三ノ輪、南千住仲通り商店会、コツ通り商店街、町屋駅前銀座商店街、町屋アベニュー、尾竹橋通り三栄会、ふれあいCITYおぐぎんざ、はっぴーもーる熊野前、小台本銀座通り柳会</p>				
経過					
必要性	区の観光資源である都電荒川線を中心としたイベントを開催することにより、区のイメージアップ・PRにとどまらず商店街の活性化に寄与するものとする。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

		（単位：千円）						
		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算・決算額等の推移	予算額				1,153	1,087	1,113	1,205
	決算額（22年度は見込み）				876	876	971	1,205
	人件費					2,965	2,850	
	【事務分担量】（%）					35	35	
	合計（+）	0	0	0	876	3,841	3,821	1,205
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	0	876	3,841	3,821	1,205	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	都電荒川線沿線ウォークラリー				実施	実施	実施	実施

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需用費	参加記念品ほか	124	参加記念品ほか	287	参加記念品ほか	267
	台紙、ポスター印刷	336	台紙、ポスター印刷	279	台紙、ポスター印刷	499	
役務費	ポスター掲出料	26	ポスター掲出料	26	ポスター掲出料	26	
委託料	会場設営委託	389	会場設営委託	379	会場設営委託	413	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
標	都電荒川線沿線ウォークラリー参加者数（人）	800	1,250	1,301	1,500	2,000	

（問題点・課題）	<p>（指標数値は、天候等外部的な要因で左右されるため、達成困難な場合が想定されるものである。）</p> <p>今後も継続できる魅力のあるウォークラリーを続けることが必要であるため、引き続きアンケートを行うとともに、PRの実施に努めていく。</p> <p>平成23年度は、都電100周年を迎えることから、これを誘客の契機とするための事業を行うためには、多方面の協力が必要となる。</p>
他区の実施状況	<p>（実施 3 区 未実施 区）</p> <p>港区 「MINATO WALK みんなで歩こう！」 品川区・大田区「つまみぐいウォーク」</p> <p>足立区 「菖蒲まつり&ウォークラリー」 目黒区 「さんま・たけのこスタンプラリー」</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
アンケート結果により創意工夫を行っていく。	イベントの魅力を高め、参加者の拡大を図ることが期待される。
平成23年は、都電開業100年目を迎え、都交通局がイベントなどを行うことから、情報収集を適切に行い新たな事業を展開するなど観光振興を通じた地域の活性化に取り組む。	都電100年を契機として、沿線の魅力をさらに発信していくことで、来客者の増加が見込まれる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	荒川区の主要な観光資源の一つである都電荒川線をさらに活用していく。

議（要旨）	
-------	--

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	受入体制整備事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	吉野 豊喜
		担当者名	内田、野沢	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	受入体制整備事業（01-03-03）				
事務事業の種類	新規事業	（ 22年度 21年度 ）	建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	17 年度	根拠	荒川区外国人来訪者受入体制整備支援事業補助
終期設定	有	無	年度	法令等	金交付要綱
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]			
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]			
	施策	観光による地域活性化の推進[06-01]			
目的	観光客の多様なニーズに対応できる受入環境の整備促進のため、外国人旅行者にも配慮した外国語（英語、中国語、ハングル）標記の観光案内標識を整備するとともに、観光ボランティアガイドによる案内を促進させることにより、来訪者の受入体制の充実を図る。				
対象者等	来訪者				
内容	<p>1 観光案内標識設置事業 東京都観光案内標識設置補助金交付要綱に基づく補助事業 17年度 日暮里地区 4基 18年度 南千住地区 5基 19年度 都電荒川線沿線 5基 20年度 隅田川沿岸 5基 21年度 日暮里地区の改定、標識清掃の開始、 22年度 南千住地区の改定、三ノ輪停留場標識の都からの移管（予定）</p> <p>2 外国人来訪者受入体制整備支援事業(平成20年度～) ・外国語版ホームページ・パンフレットの作成支援：区内の宿泊施設を営む事業者が外国語版のホームページ又はパンフレットを新規に作成する場合の初期経費の一部（3分の2 上限20万円）を補助する。</p> <p>3 観光ボランティアガイド 養成講座の実施（平成18年度全10回27人登録、19年度全10回15人登録、20年度全10回23人登録、21年度全10回6人登録） *登録者数64人 観光ボランティアガイドの活動（平成18年度～）</p>				
経過	観光案内標識設置事業：平成17年度事業開始（04-03-08観光案内標識設置事業から組み替え） 外国人来訪者受入体制整備支援事業：平成20年度事業開始 観光ボランティアガイド事業：平成22年度より観光情報提供事業より移管				
必要性	多言語の観光ボランティアガイドによる案内や標識等の整備を進めることは、来訪客を増やすことに寄与する。				
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
予算額	2,000	6,000	7,500	6,000	10,005	2,262	2,262	
決算額（22年度は見込み）		4,809	5,576	5,961	6,635	1,540	2,262	
人件費		3,448	3,416	3,416	5,082	3,257		
【事務分担量】（%）		40	40	40	60	40		
合計（ + ）	0	8,257	8,992	9,377	11,717	4,797	2,262	
国（特定財源）								
都（特定財源）		4,809	5,575	5,961	6,238	0	0	
その他（特定財源）								
一般財源	0	3,448	3,417	3,416	5,479	4,797	2,262	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	観光案内標識設置(改定)		4	5	5	5	(4)	(5)
	外国語版HP作成支援					2	1	3
	ガイド活動			2	7	9	16	24

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費					ガイド養成講師	104
	需用費					ガイド消耗品等	302
	役務費					ガイド保険料等	25
	委託料	標識作成委託	6,239	観光案内標識改修等	1,162	観光案内標識改修	1,792
				観光案内標識清掃	178	観光案内標識清掃	200
	使用料	会場使用料	0			ガイド視察	276
	補助金	外国語版HP作成支援	396	外国語版HP作成支援	200	外国語版HP作成支援	600

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
	設置標識数	14基	19基	19基	20基	20基	数値は累計
	外国語版HP等作成支援		2件	3件	4件	8件	数値は累計
	観光ボランティアガイドの活動	7回	9回	16回	24回	36回	来訪者からの依頼に基づく活動数

（問題点・課題分析）	<p>多様なニーズに対応できるよう、観光ボランティアガイドの資質をさらに向上させるとともに、活動する場を拡大することが必要である。 山谷地区の宿泊施設等の外国人旅行者を区内イベントに積極的に呼びこむための取り組みが必要である。</p>
他区の実況	<p>（実施 6 区 未実施 16 区）</p> <p>観光案内標識...台東区、豊島区、中央区、葛飾区、千代田区、足立区他</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
<p>観光ボランティアガイドを積極的に広くPRするとともに、ガイド向けの講演会を通じて、より一層、きめ細かい案内ができるよう資質の向上に努めるとともに、まち歩きツアーの拡大を検討する。</p>	<p>来訪者の多様なニーズに応えられることができ、区の魅力をPRすることができる。</p>

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	外国人を含めた来訪者の受入体制の充実を図る。

議会議況（要旨）	
----------	--